

【田地売券】

う(一)り売わ渡たし(一)申(一)て田ん地ち(一)の事

合(一)一(反)たん者

よう(一)く要ある用によんて(一)、けんせん(現

十三く(一)わん貫文(一)に、ほり(堀)五郎さへもん(左

はう(方)にあた(一)へ与候所(一)しちなり(実)、こ日(後)に

いらん(違わ乱つ煩らい(一)申(一)とも輩から(一)も候ハ、

ぬす(盗)人(一)とし(一)よせ(一)られ候へく候、

ほん(本けん券もん文)、しん(新へん別)所(一)の一(一)わん和しやう尚)

うり(売ふ文)ミ(一)、その(地)ち(一)う(請け文)ふ(一)ミ(一)の(折おり紙)かみ(一)

まで(一)あい(相そ副)へ(一)候て(一)わたし(渡)申候、

こ日(一)のため(為)の(一)し(状)やう(一)、く(一)たん(件)の(一)マ(マ)、

うり(ぬし脱力)

めい(明おう応)三(一)ねん(年)うち(宇大治)ち(路)の

とら(一とし四六九月四)日 かみ(一)との(花押)